

団員 澤田 修次

広島県福山市 東部スポーツクラブ
ゼネラルマネジャー

「チャンス・チャレンジ・チェンジ」

我として、生涯スポーツ社会の実現の向けて、我が生活圏における日常的なスポーツ活動拠点となる総合型地域スポーツクラブが育成・発展していく為の課題は次の2点に集約される。

ひとつは(1)人材や住民意識にあります。中味(悩み・問題点)として

- ①競技志向と楽しさ志向の意識のずれ
- ②一部運営者の過重負担
- ③事務局を支える人材の確保
- ④運営者・指導者・世話役の育成と確保
- ⑤質の高いプログラムづくり
- ⑥既存スポーツ団体の理解、連携不足
- ⑦地域指導者と学校の先生方の理解不足
- ⑧公益性、自主運営に対する意識

二つ目の(2)財源や施設、行政関係での中味としては

- ①財源確保の問題
- ②クラブハウスなどの施設機能の整備
- ③活動拠点と多機能施設の整備
- ④会費に見合うメリットがない反応
- ⑤行政や体育指導員の理解・連携不足
- ⑥行政への依存度大・「行政に頼まれてやっている」という意識

今回の現地での研修はケルン体育大学リットナー教授をはじめ各専門分野における中心的な役割を果たしている方々の講義と4箇所のクラブ視察という日程であった。講義の中ではドイツのスポーツ振興の状況、スポーツと社会発展のかかわり、ドイツにおけるクラブマネジメントなどについて示唆に富むお話を拝聴いたしました。又、クラブ視察では、小さなクラブからスタートして住民・会員と共に育ってきたクラブや高齢者を主な対象としているクラブ、充実した施設を完備し多くの会員がスポーツを楽しんでいるクラブなどを見学



しました。いずれも、さすが先進国と感嘆させられる内容でした。特に、クラブ視察の際には、活動を終えた後のクラブ員の皆さんと交流を深めることができ、改めてスポーツクラブの素晴らしさを実感した次第です。

そして、今回の海外研修に於いて、私なりに理解を深めた事を踏まえ、是非これはやってやろうと思ったことを挙げてみます。

未来ある スポーツクラブづくりとして

①設立目的の明確化と再確認

- ①何を指すのか！……どう変えるのか！
- ②5年後、10年後のグラウンドデザインは(どんな町にしたいのか！)
- ③事業目的は何か……誰の為に、何を、どの位やるのか

②事業の目標設定と評価方法の確認

- ①数値目標の設定
- ②外部評価の徹底

③関係機関や組織との連携

- ①行政機関(健康・福祉・介護)部門とのパートナーシップ

※ 県、市関係機関との事業連携、例えば、健康づくり関連事業の共有化や福祉部門と

連携した高齢者の健康づくりなど

②学校機関や企業との連携

※学校とクラブとの情報・ノウハウの交流、
企業へのプログラムサービス

④クラブスタッフ、指導者の養成確保

①理想のクラブマネージャー化

- ・先が見抜ける
- ・ビジョンを持てる
- ・ひとを見抜ける
- ・組織が作れる
- ・責任を取れる

②スタッフの感覚（民間の経営感覚と行政のノウハウ）

③質の高い指導技術と人間的魅力

実技指導者（指導力・調整力）・中間指導者（気配り上手）

④情報発信・収集能力（住民はなにを求めているのか）

⑤既存のスポーツ団体との共生

- ①体育指導委員②体育協会③スポーツ少年団
- ④老人クラブ、他サークル

⑥財源の確保への戦略

- ①行政・民間助成団体の補助事業選択
- ②自治体との政策的協同（委託金）健康・体力づくり事業
- ③企業との相互支援体制の構築（協賛金）
- ④大学等とのコラボ事業の実施

以上の施策について、スポーツクラブを「我がまちのクラブ」として自分達で運営し、自分達で育てる考えを定着させる努力と共に、また、同じ思いを持った仲間を多く集め、できることから実践していきたい。

● **結び・スポーツクラブライフに「乾杯」そして「感謝」**

スポーツクラブ先進国ドイツのスポーツシステムの理論と現状を短期間であったが、自分なりに十分に堪能し理解でき充実したものになった。特に、4つクラブを視察して、クラブ関係者の「や

る気」「根気」まして、マネジメント手腕やそれをサポートされておられる方々の意識の高さに敬服するばかりであった。

現状の日本では、なかなか個人が地域の為に活動することの意識やその必要性が充分理解されにくいのが事実であろうと思う。今回の研修を活かして、更に豊かな方向性なり方策を見出し地域に根ざしたクラブを育成し、そしてより多くの人々がクラブライフを楽しめる社会を実現したい。

最後にこの度の有意義な研修の機会を与えて戴いた関係者の方々、お世話を戴いた先生方、そして一生の友「15人の仲間」に感謝申し上げます。

総合型地域スポーツクラブに「プロースト」（乾杯）!!